

水道の歴史と陣が下溪谷を訪ねて

実施日；9月15日

コース概要；西谷駅北口(WC)→妙福寺→正観寺→環状2号高架下(WC)→陣ヶ下溪谷→
 横浜水道記念館(WC)→陣ヶ下溪谷公園→島崎金子稲荷社タブノキ→鶴ヶ峰駅
 解散(約5K) 12:30分頃

NO	見所	由来・史跡
1	妙福寺 日蓮宗	創建は慶長年間(1596～1615)。元は山上にあった。昭和47年(1972)本堂庫裏等を再興。平成5年山門を再興。山門脇の題目碑は享保10年(1725)の建立。
2	正観寺 曹洞宗	創建は寛永2年(1625)、開基は中田藤左衛門(寛永12年没)。天正18年(1590)矢上の城主中田加賀守が、小田原北条氏落城の時に討死。その子藤左衛門が父の供養のため、加賀守の守り本尊の正観音菩薩立像を奉納し菩提寺とした。本尊は12年に一度の子年の開帳で、旧小机領33観音霊場の第5番札所となっている。本堂脇の開運弁財天は、「民話の里を訪ねて」の白蛇の伝説のもとと云われており学問・芸芸・開運の神として信仰を集めている。
3	陣ヶ下溪谷	敷地面積15ha、「陣ヶ下溪谷公園」として2004年4月に開園。環状2号線と帷子川が交差する地点の南西側に、近代的な道路と寄り添うように自然の溪谷が息づいている、市内では唯一溪谷としての景観を保っている。陣ヶ下の地名は、源頼朝の家臣和田義盛が、狩のためこの近辺に陣を張ったことに由来しているとか。
4	水道記念館	横浜水道創設100周年を記念して昭和62年(1987)に開設した。 水道の歴史や仕組みを楽しく分かり易く解説している。
5	西谷浄水場	明治16年(1883)、県はイギリス人パーマーに近代水道をつくるための調査を依頼し、明治20年(1887)10月に日本で初めての鉄管による水道が完成した。西谷浄水場(海拔約70m)は大正4年(1915)に出来た。当時の保土ヶ谷町はまだ横浜市ではなく町営水道だったため、水道料金も横浜市内に比べて2～3倍近くの割高だった。保土ヶ谷町と西谷村が横浜市に編入されたのは昭和2年(1927)です。
6	くぬぎ台団地	この辺り一帯はクヌギ林であったが、住宅地として開発され団地が形成された。公団のクヌギ台団地39棟・1033戸、県営南原テラス9棟・232戸、県営西原団地18棟・399戸、市営西原グリーンハイツ64戸が建っている。鶴ヶ峰駅よりバスの便あり。
7	タブの木	常緑広葉樹の代表的な樹種であるタブの木は、イヌグスとか、アオグスとも呼ばれ、県内ではシバノキと呼んでいる地方もある。タブノキの北限は、日本海側は山形県の飛島にあり、太平洋側は岩手県の三陸海岸にある。八丈島ではこの樹の皮から染料をとり黄八丈という織物を作っている。 ここのタブノキは、樹高は20m、胸高周囲5.7m、推定樹齢約300年とされている古木である。県の名木100選、天然記念物に指定。

*コースは、道幅・歩道が狭いので横に広がらないようご協力願います。

<次回案内>

下鶴間の史跡と瀬谷のソバ祭り

日時：10月13日(土) 瀬谷駅北口広場 9時00分受付

会員募集中 ! *問い合わせ先* せや・ガイドの会 竹見 (☎090-3900-6469)まで。

ホームページ「せや・ガイドの会」[検索] <http://www7b.biglobe.ne.jp~seya-guide/index.html>